

（表）

平成27年10月16日

## 地域みんなでまちづくり会議活動報告書

地域みんなでまちづくり会議の内容について次のとおり報告します。

地区名	第一小学校通学区域	報告者氏名	加藤 秀郎
開催日時	平成27年10月15日（木） 午後7時00分から8時23分まで		
会場	さくらホール(市民会館) 展示室		
参加者	市長の出席 <input checked="" type="checkbox"/> ・無 <input type="checkbox"/> 市民19名、地域担当職員3名 合計22名（うち男性18名 女性4名） 事務局3名		
（議題等）			
① 第一小学校通学区域 地域みんなでまちづくり会議規約の制定について			
② 会長及び副会長の選出について			
③ 課題の抽出について（意見交換会）			
④ その他			
(1) 次回の検討事項について			
(2) 次回の開催日について			
（会議の内容）			
① 「第一小学校通学区域 地域みんなでまちづくり会議規約」が原案のとおり採択された。			
② 会長：岡本皓夫氏、副会長：小泉亨氏、高橋尚己氏に決定した。			
③ 課題の抽出について（意見交換会）			
・ 自治会の加入者が減少し、勧誘はするも加入してくれない。また、役員を受けるのを嫌がる人も多くなっているなど、つぶれる不安がある。			
・ 自治会加入へのメリットを聞かれるが、噂でメリットがないとの伝聞があるようである。			
・ 住みやすい地域であり、今のままで良いとは思っている。			
・ メリットを考えるのであれば、子供たちとの関係で親と連携することではないか。			
・ いろいろな会議等があるが連携がない。幼保、小、中との連携で何かができると思う。			
・ 自治会未加入でもどこかで活動につながっている。それを見えるようにできないか。			
・ 自治会員は消防、防犯、安協の活動に協力、貢献している、未加入者への憤りがある。			
・ PTAとして道路等安全点検を教育委員会等との協力で実施した。今後も継続していく。			
・ 子供が大人になったとき、今より住みにくくならないよう、何か方策を考える必要がある。			
・ 青少対でも親とのかかわりが少ない、廃品回収などで地域との連携協力が欠かせない。			
・ 一定規模の住宅開発ではコミュニティが形成されているが、溶け込めない人もいるようだ。			
・ 園庭開放などで地域交流を図っている。悩み相談なども受けている。余った給食を知り合いの独居老人等へ届けているが、拡げていくには個人情報もあるので難しい。			
・ ミカン狩り、芋ほりなどで地域と交流できている。卒園の半数が一小に行くので、			

（日本工業規格A列4番）

